

利用者さま

身体の動きに不安がりましたが、
楽しく的確なリハビリで、
続けていく内に身体が動くようになり、
活動にも自信がもてるようになりました。
もっと早くに利用したかった。

63才男性・要介護3



ご家族さま

おにぎりを握ったり、
しそジュースを作るようになりました。
回覧板を自分で持って行ったり、
電話したりと、おしゃべりする
ようにもなりました。

利用者さま

玄関に手すりをつける
アドバイスをいただき、
使ってみたらとても楽にかけ
られるようになりました。

87才女性・要介護2

ご家族さま

前は抱えながら玄関を上げて
いましたが、見守りだけになって
とても楽になりました。

利用者さま

週1回の利用でしたが、
その日の体調に合わせて丁寧に
体操から始まり、歩行器での散歩
なども出来るようになりました。
通所に行く準備として
とても良かったと思います。

87才女性・要介護2

ご家族さま

いつも親切・丁寧にリハビリ
していただき、父も来ていた
だけののを、とても楽しみに
待っております。

利用者さま

何才になっても丈夫で動けることが
第一です。リハビリを受けて大分良
くなりました。リハビリがこんなに
大切だと思いませんでした。

92才男性・要介護5

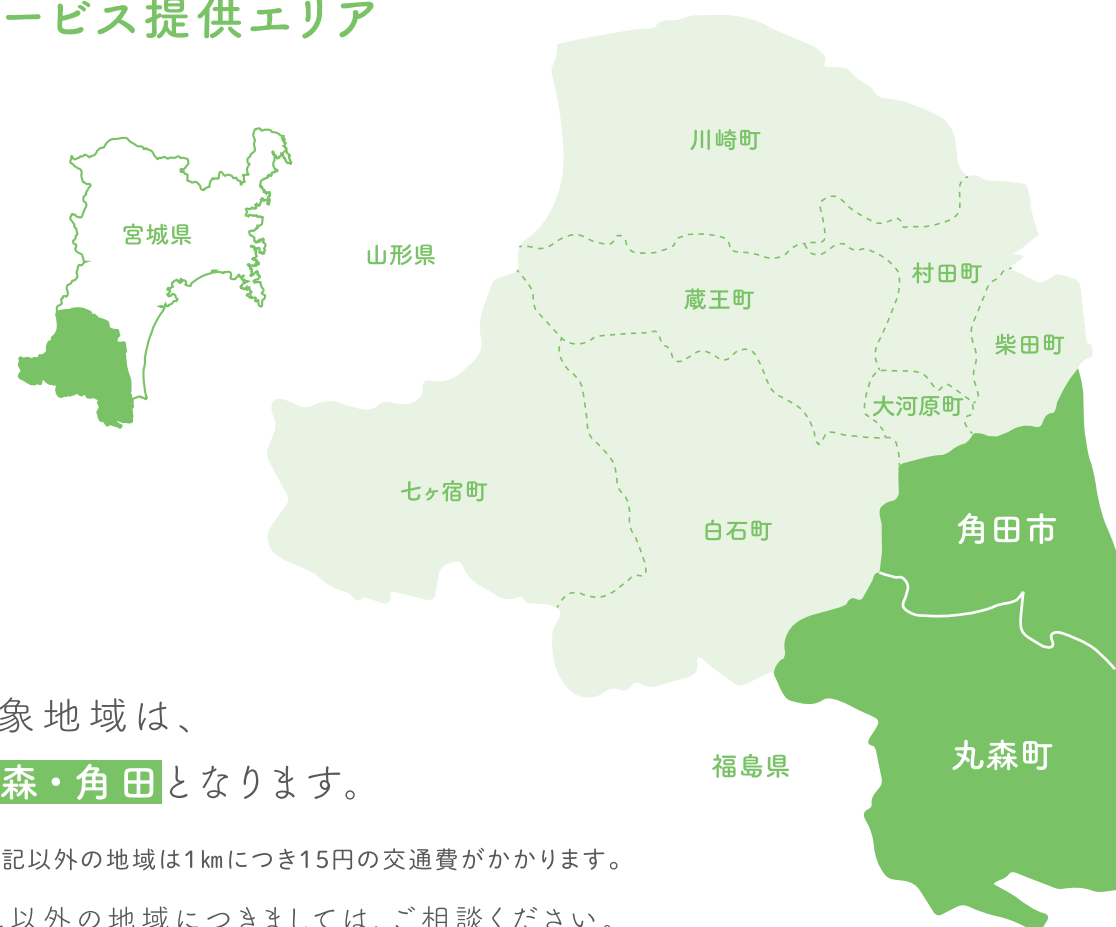


ご家族さま

痛みを訴えることも少なく
なっており、自力歩行が
続けられています。

利用者さまとご家族さまの声

サービス提供エリア



対象地域は、
丸森・角田となります。

※上記以外の地域は1kmにつき15円の交通費がかかります。
それ以外の地域につきましては、ご相談ください。

営業について

営業日 / 月曜日～土曜日(祝日も営業) 営業時間 / 9:00～16:00
休 日 / 日曜日、年末年始(12/30～1/3)

医療法人財団明理会 介護老人保健施設 丸森ロイヤルケアセンター

- ・所在地 〒981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋9-2
- ・TEL 0224-73-1101 FAX 0224-73-1155 月～土/8:45～17:45(祝祭日を除く)
- ・URL <http://www.ims.gr.jp/marumori-royal/>

わたしたちは、3つの”わ”を大切に、利用者さまの「自分らしさ」を損なう事なく
安心して生活できる「場」を共に築いていきます。



和 利用者様同士の”和”、職員同士の”和”そして利用者様と職員の”和”
話 会話と笑顔のあふれる、家庭的な雰囲気づくり
輪 施設と家族、そして施設と地域を繋ぐ”輪”



訪問リハビリテーションのご案内

生き活きと、 あなたらしく。

IMSイムスグループ 医療法人財団 明理会
丸森ロイヤルケアセンター

訪問リハビリテーションのご案内

生き活きと、あなたらしく。

check! 動けなくならないように体を動かしたい

check! 楽にトイレに行きたい

check! つまづかず歩きたい

check! 介助の仕方を知りたい

Fight

check! お風呂に入りたい

check! 退院後も不安なく生活したい

わたしたち、リハビリの専門スタッフが、これらの原因やあなたの不安を解消します！



一人ひとりに寄り添ったサービスを 作業療法士 管理者 沢田 吉信

介護老人保健施設である丸森ロイヤルケアセンター 訪問リハビリテーション事業所は、平成25年4月1日に開設しました。利用者さまの在宅生活を支援するため、入所・通所・訪問のリハビリテーションを利用者さまの状態に合わせて提供できることが強みになっています。訪問リハビリテーションは、中でも自宅での生活に寄り添った練習や助言を行うことができます。ぜひご相談ください。

訪問リハビリって具体的にどんなことをするの？

- リハビリ**
- 福祉用具**
- 介助方法**

リハビリスタッフがご自宅に伺い、主治医と連携しながらリハビリをおこないます。

一人ひとりの家屋環境に合わせて、その方に合った福祉用具の提案をおこないます。

ご家族さまに対して、その方に合った介助方法のアドバイスをおこないます。

利用開始までの流れ

- ① 介護保険の申請
- ② ケアマネジャーへ依頼
- ③ 主治医からの指示
- ④ 担当者会議の開催
- ⑤ ケアプランの作成
- ⑥ 利用開始

料金について

1日40分 週2回のご利用
1ヶ月 およそ 8,000～9,000円程度
※加算や負担割合によって金額は変わります。
対象地域は、丸森・角田となります。
※上記以外の地域は1kmにつき15円の交通費がかかります。

利用開始からの流れ

歩くのが大変で外に出たくない… 本当は家族と一緒にでかけたい。

- 01 評価**
身体状況や生活環境を評価。細かくチェック。
- 02 会議**
担当スタッフで話し合い、問題点や評価内容を共有。
- 03 リハビリテーション**
point
・筋力トレーニング・体操
・玄関の出入り
・歩行練習
体力や筋力の向上を図り、安定した歩行が行える様、家族さまに対し介助方法を指導。
- 04 3ヶ月毎の計画見直し**
身体機能の変化や歩行の安定化などリハビリの状況を確認。場合によっては、プログラムの見直しをする。
- 05 福祉用具検討**
身体機能を維持しつつ、ご家族さまと外出の介助方法を確認。必要があれば手すりなどの福祉用具も検討する。
- 06 完結(目標達成)**
Look!
外出の手段を獲得。体力と筋力が向上し、家族と一緒に買い物に行けるようになった。家の草むしりをしたい等、新たな目標ができた。会議を実施し、今後もリハビリを継続。

退院後、家でも同じようなリハビリがしたい。

- 01 評価**
病院や施設で行ったリハビリ内容と実際の取り組みを確認。
- 02 会議**
問題点を共有、自宅環境に合わせたリハビリプログラムを提案。
- 03 リハビリテーション**
point
・生活動作練習
・一人では危険な動作を一緒にしっかりと確認
安定した歩行を目指す。自立歩行が困難な場合は、ご家族さまへ介助方法を指導。
- 04 3ヶ月毎の計画見直し**
病院で行ってきた練習が自主練習としてしっかりと行えているか、生活動作が問題なく行えているか評価。
Look!
自宅生活にも慣れ、自主練習も定着して運動量が保てるようになったことが確認できれば卒業へ。

